

令和8年産水稻の出穂状況について（8月3日現在）

1 出穂状況（概況及び今後の管理）

- 8月3日現在、水稻作付面積の59.0%の水田が出穂期^{※1}を迎えている。県全体の出穂期^{※2}は8月1日で平年並となった。
- 出穂後は10日程度の湛水管理を基本とし、高温が続く場合は「飽水管理^{※3}」を徹底する。
- 斑点米カメムシ類の発生量が平年より多いと予測されている。防除時期が遅れないよう出穂状況を確認し、「穂揃期^{※4}」と「その7～10日後」の2回防除を基本として薬剤防除を実施する。

※1 出穂期（しゅっすいき）：ほ場内の50%以上が出穂に達した時期
※2 県全体の出穂期（しゅっすいき）：水稻作付面積の50%以上が出穂期に達した時期
※3 飽水管理（ほうすいかんり）：水田にある足跡に水が溜まる程度に土を湿潤状態に保つ水管理方法。必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。
※4 穂揃期（ほそろいき）：ほ場内の95%以上が出穂に達した時期

2 具体的データ（1）出穂時期の比較

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月26日	8月1日	未
平年	7月28日	8月1日	8月9日
平年差	2日早い	平年並	-
（参考）前年	7月25日	7月30日	8月6日

※平年値は平成28～令和7年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

（2）地区・地帯別の出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付面積(ha) [注]	8月3日現在出穂状況		出穂(月日)			(参考)平年値		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,628	2,878	43.4	7/27	未	未	7/26	7/30	8/9
仙台	12,012	7,841	65.3	7/25	7/31	未	7/27	7/31	8/7
大崎	18,715	11,361	60.7	7/26	8/1	未	7/28	7/31	8/8
栗原	9,694	4,819	49.7	7/24	未	未	7/28	8/1	8/11
登米	10,307	6,779	65.8	7/28	7/31	未	7/29	8/1	8/7
石巻	7,100	4,529	63.8	7/28	7/31	未	7/28	8/1	8/9
気仙沼	640	195	30.5	7/30	未	未	7/31	8/4	8/10
県計	65,096	38,401	59.0	7/26	8/1	未	7/28	8/1	8/9

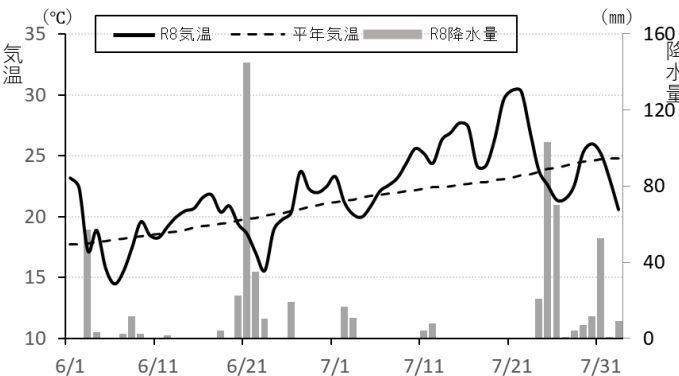
[注]作付見込面積は令和7年産の水田における作付状況(令和7年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。
※出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。
※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。
※平年値は平成28～令和7年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付面積(ha) [注]	8月3日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	941	274	29.1
西部丘陵	5,332	2,595	48.7
北部平坦	43,627	27,350	62.7
南部平坦	5,445	2,580	47.4
三陸沿岸	1,278	606	47.4
仙台湾沿岸	8,475	4,996	59.0
県計	65,096	38,401	59.0

[注]作付見込面積は令和7年産の水田における作付状況(令和7年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。
※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

参考：気象経過（仙台アメダス）



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年差	平年比	平年差	平年比
6月	19.6	0.4	314.5	219%	171.3	119%
7月	24.6	1.7	310.5	174%	131.2	104%
上旬	22.4	0.6	28.0	45%	51.0	134%
中旬	26.2	3.5	12.5	19%	46.8	123%
下旬	25.1	1.0	270.0	537%	33.4	67%

※出穂状況は今回で終了です。次回は9月中旬に刈り取り状況を発表します。